

■ バスケットボール（知）



バスケットボール(知)

一般のバスケットボールと同じルールで、1ピリオドを10分間とし、合計4回実施されます。
(男女別)

★ 競技の概要

【原則】

- (財)日本バスケットボール協会競技規則による。

【チーム編成】

- 男女別で、1チーム12名以内で編成。(スタメンは5名。)

【競技場】

- 一般のバスケットコートを使用する。

【用具】

- 試合球は、(財)日本バスケットボール協会検定球とし、男子は7号球、女子は6号球とする。

【試合】

- 試合時間は、10分クォーター制とし、第1ピリオドと第2ピリオド及び第3ピリオドと第4ピリオドの間にそれぞれ2分のインターバルをおく。
- 第2ピリオドと第3ピリオドの間に10分のハーフタイムをおく。

■ 車椅子バスケットボール（身）



車椅子バスケットボール(身)

車椅子を使用して行うバスケットボールで、ルールは一般のバスケットボールとほぼ同じです。

★ 競技の概要

【チーム編成】

- 男女を問わず、1チーム12名以内で編成。（スタメンは5名。）
- プレイヤーはあらかじめ、障害のレベルに応じて1～4.5の8段階に持ち点が決定されコート内の5人のプレイヤーの持ち点は合計14点以下にしなければならない。

【競技場】

- 一般のバスケットコートを使用する。

【用具】

- 試合球は、（財）日本バスケットボール協会検定7号球とする。
- 使用する車椅子にもフット・レストの高さやタイヤ等に関する規定がある。

【試合】

- 試合時間は、知的のバスケットボールに同じ。
- ボールを保持したプレイヤーは、3回連続でプッシュ（車輪をこぐこと）を行うとトラベリングとなる。（3回目のプッシュまでにボールをバウンドさせれば連続ドリブルとなる。）
- ダブルドリブルの規定はありません。

■ ソフトボール（知）



ソフトボール(知)

一般のソフトボールとほぼ同じルールですが、盗塁やスクイズは認められていません。

★ 競技の概要

【原則】

- (財)日本ソフトボール協会オフィシャル・ソフトボール・ルールによる。

【チーム編成】

- 男女混合、15名以内で編成。(スタメンは9名。)

【競技場】

- フェア地域及び塁間距離と投球距離は、女子の規格に準じる。

【用具】

- 球は、3号ボール(ゴム)とする。(金属製スパイクは禁止)

【試合】

- 決勝以外の試合は5回まで。(試合開始後1時間を経過した後は、新しいイニングに入らない。)
- また、同点の場合、延長は2回まで、15分以内とする。
- 決勝戦は5回とし、同点の場合は、勝敗が決するまで。
- パスボール、スクイズ、盗塁はなし。

■ グランドソフトボール（身）



グランドソフトボール（身）

視覚障害のある選手が行う競技で、一般のソフトボールのルールを基本としています。
ハンドボールの球を使用し、ボールが転がる音を頼りにバットで打ちます。

★ 競技の概要

【チーム編成】

- 男女を問わず、1チーム15名以内で編成。
- なお、スタメンは10名、指名打者を採用した場合は12名とする。（うち全盲プレイヤーは4名以上、他は弱視プレイヤー）
- 全盲プレイヤーは、アイシェードを装着する。
- 一般的に、遊撃手が2名。（左遊撃手、右遊撃手）
- 左遊撃手と捕手は弱視、右遊撃手と投手は全盲プレイヤーとする。

【競技場】

- 守備及び走塁の専用ベースをそれぞれ設けている。
- それぞれの塁には、進塁をサポートするコーチャーが配置される。（コ・チャーズボックス）
- ファールラインの外側にノープレイラインを引き、ノープレイエリア（緩衝区域）を設定。
- 走者の進塁を防ぐことを目的とする「試合停止圏（投手板前線の中心から1.5mに引かれた円内）」を設定。

【その他】

- 全盲野手が転がっている打球を補給した場合、打者は「ワイ・キャッチ・アウト」となる。

■ フットベースボール（知）



フットベースボール(知)

ルールは一般のソフトボールを基本としています。

ゴム製のサッカーボールを使用し、ピッチャーが両手で転がしたボールを蹴り、得点を競います。

★ 競技の概要

【チーム編成】

- 男女を問わず、1チーム15名で編成する。
(スタメンは9名。指名(打撃専門・守備専門)選手を採用した場合は10名)

【競技場】

- 各塁間の距離は15m。投手板と本塁ベース間の距離は10m。
- 走者の進塁を防ぐことを目的とする「ピッチャーズサークル(投手板前線の中心から1.5mに引かれた円内)」を設定。(グラウンドソフトボールとほぼ同じ。)
- 本塁基点を中心として、一・三塁延長線(ファウルイン)間を結ぶ半径五メートルの円弧をパスラインとし、打者が蹴ったボールがパスライン内で停止した場合はファウルとなる。

【用具】

- ボールは、サッカーボール(ゴム製4号球)とする。

【その他】

- 試合は7回、又は試合開始から60分が経過した回まで行う。ただし、同点の場合は、タイブレーカー(無死・走者二塁)により試合を継続する。

■ バレーボール（身・知・精）



バレーボール（身・知・精）

聴覚障害者、知的障害者、精神障害者に分かれて行います。聴覚・知的障害部門は、一般のバレーボールのルールを基本とし、男女別で行います。

精神障害部門は男女混合で行い、ソフトバレーボールを使用します。

★ 競技の概要

【チーム編成】

- 身体・知的は男女別12名で、精神は男女混合（うち、女子プレイヤー1名以上）で、12名で構成する。（スタメンは6名）

【ネットの高さ及び試合球】

- 身体：男子2.43m、女子2.24m。（公財）日本バレーボール協会検定球5号球。
- 知的：男子2.30m、女子2.15m。（公財）日本バレーボール協会検定球5号球。
- 精神：2.24m。（公財）日本バレーボール協会制定 ソフトバレーボール球・糸巻き。

【その他】

- 試合は3セットマッチとし、2セットを先取したチームを勝ちとする。
- 1セット25点のラリーポイント制とする。なお、得点が「24対24」の同点となった場合、それ以降は、2点リードしたチームがそのセットの勝者とする。
- リベロプレイヤーを採用する場合は、他の競技者と区別できるユニフォームを着用する。

■ サッカー（知）



サッカー(知)

一般のサッカーと同じルールで、ハーフタイムを挟んで、前後半、各30分で実施されます。

★ 競技の概要

【原則】

- （公財）日本サッカー協会競技規則による。

【チーム編成】

- 男女を問わず、1チーム16名以内で編成。（スタメンは11名。）

【競技場】

- 一般のサッカーコートを使用する。

【用具】

- 試合球は、（公財）日本サッカー協会検定球5号球とする。

【試合】

- 試合時間は、ハーフタイム10分を挟んで、前後半、各30分で実施される。
- 同点の場合は、ペナルティキック方式により勝敗を決定する。
- 決勝戦は、前後半各10分の延長戦を行い、なお同点の場合は、ペナルティキック方式により勝敗を決定する。